

# サントリリー 攻め一貫

サントリリー 東レ 東レを破って優勝し、喜ぶサントリリーの選手たち(三浦博之撮影)



【武藤佳正】



## 強力サーブで主導権

東レ・小林監督の敗戦の弁が試合を端的に表していた。「サーブ力と攻撃力で相手が上回っていた」。サントリリーがそのサーブ力で発揮したのは、セットカウンターを1ー1で迎えた第3セットだ。6ー3の場面でサーバーは鈴木。本来は無回転のジャンプフロ

ーターサーブだが、使用球の変わった今大会はジャンプサーブもこなす。ジャンプサーブでノータッチエースを決め、リードを広げた。さらに17ー11から再びエース。鈴木は「サーブで攻めるのがサントリーらしさ」と攻めの姿勢を貫いた。

ジルソン監督の采配も的中し

### スパイク

た。22ー14からはピンチサーバーとして投入された柳田が連続エースを奪う。第3セットをものにするべくそのまま押し切った。慶大から今春入社の柳田は「先輩たちに伸び伸びやらせてもらった」と指揮官が作り出すチームの雰囲気に感謝した。

昨季は無冠に終わったサントリリー。今季、ジルソン監督が植え付けたのは、最後まで諦めず戦う姿勢だ。現役時代のジルソン監督と一緒にプレーした主将の山村は「考えていることは理解している。それをコートの中で表現できるようになつた」。指揮官の思いを実践した後輩たちが、グループ戦で敗れた東レに雪辱を果たし、2年ぶりの黒鷲旗を手にした。

最終日の6日、大阪市中央体育館であつた男女の決勝。女子は、プレミアリーグ入賞候補で復帰を逃したJT(大阪)がトヨタ車体(愛知)にストレート勝ちして2年連続を阻んだ。男子は、プレミア準優勝のサントリリー(大阪)が4年ぶりの頂点を狙つた東レ(静岡)を降した。(1面参照)

第64回  
黒鷲旗  
全日本男女選抜  
バレーボール大会

■最終日

主催 毎日新聞社 日本バレーボール協会

最高殊勲選手に贈られる黒鷲賞は、男子はエバンドロ(サントリリー)、女子は中村亜友美(JT)がそれぞれ初受賞した。最優秀新人賞は、男子が石川祐希(中大)、女子は比金桃子(トヨタ車体)が選ばれた。大会期間中の入場者数は2万9100人で、前回大会を2200人上回った。

J	T	3	252525
リサント	3	25252517	112123
東	レ	20152225	0
			車体

○: 現役最後の試合となつた東レのボヨビッチ。レフト、ライトともに立てるものの、有終の美を飾ることはできなかつた。それでも試合後、サ

ントリーの選手からも胴上げされ宙に舞うと、「すごく幸せです。感極ました」と自頭を熱くした。2008年に加入してから7シーズン。セルビア出身のアッカーナのプレーが相手チームをも魅了した証しだつた。

男子・エバンドロ  
女子・中村黒鷲賞

ともに初受賞

○:男 子:○  
【黒鷲賞】エバンドロ  
字は受賞回数

○:女 子:○  
【黒鷲賞】中村亜友美  
字は受賞回数

○:男 子:○  
【黒鷲賞】石川祐希(中大)  
【ベスト6】山村宏太②、エバンドロ①、栗山雅史②(以上サントリリー)、ボヨビッチ③、星野秀知④(以上東レ)、福沢達哉⑤(バナソニック)、大樹⑥(サントリリー)

○:女 子:○  
【黒鷲賞】比金桃子(トヨタ車体)  
【敢闘賞】竹田沙希①(以上JT)  
【敢闘賞】田中瑞穂②(以上JT)  
【敢闘賞】中村亜友美②、田中瑞穂③(以上JT)  
【敢闘賞】芥川愛加②、奥村麻依②(以上トヨタ車体)  
【敢闘賞】井上琴絵②(以上JT)  
【敢闘賞】平松美有紀②(以上JT)  
【敢闘賞】竹田沙希②(以上JT)